TRIBUNE SHIKOKU

編集部では、読者の皆さんからの情報提供や投稿を募集しています。また当社HP上にて、NET-NEWS（￥8,400）を設け、最新情報を発信しています。

情報提供や購読希望の方はご連絡ください。
☎ (088)664-5004
FAX(088)664-4809
E-mail-tribune@mail.planning21.ne.jp

トリビューン tribuneしこく

《毎月5・15・25日発行》
発行所 ㈱トリビューンしこ
〒770-0874 徳島市南沖洲2丁目8-
電話(088)664-5219 FAX(088)664-48
年間購読料 7,500
阿波銀行県庁支店/口座番号・普通03182
徳島銀行県庁支店/口座番号・普通52837
郵便振替口座/01650-6-22468

昭和31年2月27日 第三種郵便物認可 第1177号 平成25年9月15日（日曜日）
【掲載記事、写真等の無断転用を禁止しま

岐阜・飛騨で阿波踊り

「南大阪連」「奈良大仏連」「にしき連」の合同連『飛騨の盆踊り』と競演

共有した踊る楽しさ 広がる文化交流の輪

県外に拠点を持つ阿波踊り連が、踊りを通じた徳島のPRや地域間の文化交流に積極果敢に取り組んでいる。関西地域で活動する「南大阪連」「奈良大仏連」「にしき連」の三連。九月七日には岐阜県飛騨市で街を踊り歩き、阿波踊りの魅力をアピールした。今年四月には台湾・高雄市の伝統祭りに出演、日台の交流促進に一役買った。国内外で踊りを披露し、文化交流の輪を広げる〝進化する〟阿波踊り連。メンバーは「阿波踊りの楽しさを一人でも多くの人に知ってもらいたい」と意気盛んだ。

飛騨の街を流し 踊り、鳴り響いた鉦や太鼓

九月七日午後五時過ぎ、小雨降る飛騨の街に、阿波踊りの鉦や太鼓が鳴り響いた。「やっとさー」の掛け声に合わせて踊り歩く踊り子たち。ぎこちない手振り足つきの飛騨市民が後に従う。

鳴り物の音に誘われて、家々からは住民が顔を覗かせる。宵闇に突如現れた「阿波踊り」。沿道に佇む飛騨の人々は拍手や声援を送り、踊り子たちと笑顔をかわす。

踊り子たちは古い木造家屋が並ぶ古川町を通り抜け、まつり広場の特設舞台へ。待ち構えていた観衆の拍手に応えて、勇壮な男踊り、しとやかな女踊りを披露。飛騨市民を魅了した。

合併十周年を盛り上げた阿波踊り

飛騨市はこの日、恒例の盆踊り大会の開催日だった。年に一度の盆踊りとして、団子まきやストリートダンス、獅子舞や各地区に伝承される盆踊りなど様々なイベントが行われ、街全体が踊り気分で浮かれていた。

阿波踊りは盆踊り大会の特別ゲストとして招待された。招かれたのは、「南大阪連」「奈良大仏連」「にしき連」の総勢六十人。三連は関西在住の県人を中心に結成された踊り連。ボランティアで阿波踊りの普及活動を行う踊り好きの集まりだ。

ゲスト出演が実現した背景には、日華親善協会など日本と台湾との交流推進活動を接点とした「徳島」と「飛騨」との人的交流がベースにあった。盆踊り大会の実行委員会がその人脈を活用、飛騨市合併十周年という記念大会のメインイベントとして阿波踊りの招聘を企画した。

「飛騨市では『ひだやんさ』や『えんやら』、『太子踊り』や『ぜんぜの子』などの盆踊りが伝承されているんです。年に一度の盆踊り大会はそれを保存継承するためのイベントなんです。阿波踊りのゲスト出演は盆踊り大会への市民の関心喚起に大きなプラスになりました。感謝しています」（実行委員会関係者）。

年に一度の盆踊り大会。合併十周年という節目を迎えた今年は、徳島と飛騨の盆踊りの競演で盛り上がったようだ。

▲飛騨市古川の街並みを踊り歩く「南大阪」、「大仏」、「にしき」の三連。懇親会では井上飛騨市長から感謝状が贈呈された。

台湾に飛騨、遠征活動で文化交流に貢献

飛騨市に遠征し、地元の伝統盆踊りとのコラボレーションを演じた南大阪連ら阿波踊り三連。今年に入り、踊りを通じた文化交流活動を国内外で精力的に行っている。

四月には台湾・高雄市を訪問。伝統祭り「宋江陣」に招待出演。華やかな踊りで武術の祭典に花を添えた。台湾の人々に阿波踊りの楽しさを伝える三連の姿は、ユーチューブで全世界に発信された。

この十月には、台湾の大阪領事館である台北駐大阪経済文化弁事処主催の国慶記念パーティーに出演。高雄市の招待公演への返礼踊りを披露する予定だ。同パーティーは台湾の建国百二年を祝うもの。大阪で開催され西日本の日台関係者約千人が集まるイベントだ。日台の絆再確認に阿波踊りが一役買いそうだ。

踊りを通して国際交流、地域間交流の輪を広げる三連。その活動は各地で様々なリアクションを呼んでいる。

「冬になると雪に閉じ込められる飛騨人は、閉鎖的というか、見知らぬ人が来ると、玄関の戸を少しだけ開いて、自分の姿を見せずに相手のことをじっと窺うようなところがあるんです。それが今回の阿波踊りでは、家々から人が飛び出してきた。太鼓や笛が市民の祭り心を刺激したのかも知れませんが、伝統文化による心の交流の醍醐味を実感させてくれました」（実行委員会関係者）。

「踊る阿呆」に「見る阿呆」、踊りの楽しさを伝える阿波踊り連の地道な活動が、国内外で交流の輪を着実に広げている。

税金免除で利益

「法人税、固定資産税、消費税

▲介護給付費の審査や支払事務を行う徳島県国保連会。介護保険に関する苦情処理業務も行っている。

■社会福祉法人の税制優遇措置一覧

①	法人税	非課税
②	印紙税	一部非課税
③	消費税	原則非課税
④	事業税	非課税
⑤	市町村・都道府県民税	非課税
⑥	固定資産税	原則非課税
⑦	不動産取得税	非課税

人の財務実態が浮き彫りになった。

莫大な内部留保の存在は徳島県内の社会福祉法人でも確認されて

表を見れば一目瞭然だが、法人税、事業税、都道府県民税、市町村民税、不動産取得税は非課税。固定資産税、消費税は原則非課税。印紙税は一部非課税。民間企業に課されるほとんどの税金が免除されている。

社会福祉法人の優遇ぶりは医療法人と比較するとよくわかる。医療法人も特養以外の社会福祉事業を行うことができるが、事業税や消費税が一部非課税になったり、法人税に軽減税率が適用されるだけ。社会福祉

設費や設備整備費の一部を助成するものだ。

助成基準は建設費がベッド一床につき四百万円、設備整備費がベッド一床につき六十万円。県内では現在、徳島市と三好市、北島町で、自治体から指定を受けた社会福祉法人が小規模特養の整備を進めているが、徳島市と三好市では一億三、三四〇万円、北島町では六、九六〇万円がそれぞれの社会福祉法人に支給される予定だ。

有効活用問われる「内部留保」

収入の大半を公的資

留保を保有するということは、やはり構造的な問題があるのではないか。老人介護の現場では、利用者への劣悪なサービスや職員の労働条件の悪さなど様々な問題点が指摘されている。社会福祉法人も利益を貯め込むばかりでなく、それらの問題改善に内部留保を有効活用すべきですよ」（業界ウォッチャー）。

介護保険料など国民から徴収した莫大な公的資金が投入される社会福祉法人。国民が負担する貴重な血税は、社会福祉充実のために、どれだけ「生きた金」になっているのだろうか。

投書コーナー

知事実妹のシンガーが、徳島でライブを頻繁に行っており、観客には県幹部やOB、一部業者らが存在している。

今春の阿波観光ホテルの新曲発表会では、元副知事や元政策監が受付で待ち構えており、この二人が主催者かと思える行動を取っていた。

チケットは、後援者ないしは県職員により斡旋されたものと思われるが、勤務時間中にやり取りが行われたとしたら、公私混同も甚だしいものがある。

九月七日にも徳島市内でコンサートが開催され、県職員にチケットが販売されたと思われるが、たとえ知事が

阿波の番茶

【ネットの脅威】

JAXAが開発した新型ロケットの打ち上げが十四日午後二時ジャストに行われた。今回のロケット発射は全国のパソコンやスマートフォンからも生中継映像が流れ、おそらく日本のロケット打ち上げ史上、最多の人々が見守ったことだろう。

こんなことができるようになったのもインターネットの普及のおかげ。東日本大震災が災害情報等の迅速な年ンがリ

あなたの情報大募集!!

一人で悩まずスッキリしませんか？

貴方が抱えている行政や会社、社会の問題、疑問など不審に思う事や残念な思いを本紙に投稿してください。

総工費約三十五億円の新本店建設工事の入札結果を、なぜか株主に公表しない徳島銀行。入札結果を審議した取締役会の開催日時も「教えられない」